

仙台YMCA

みつかる。つながる。よくなっていく。

No.360.2024



# 仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



2024年5月25日発行

公益財団法人仙台YMCA  
〒980-0822  
仙台市青葉区立町9-7  
Tel 022-222-7533  
Fax 022-222-2952  
www.sendai-ymca.org  
発行人 / 加藤雄一  
編集人 / 松島見子



## Water Safety

今年は4月から気温も高く、この夏は昨年以上に暑くなる事が予想されます。更に気温が高くなり、夏本番になると海や川など水場でのアクティビティが増えてきます。しかし、楽しさの側には命を落とすような危険が潜んでいることを忘れてはいけません。

特に夏の時期は、水の事故が全国的に増えてきます。YMCAでは、水難事故で尊い命が奪われる事がなくなるようにウォーターセーフティーキャンペーンを行っています。仙台市教育委員会などから後援をいただき、全国のYMCAで作成したウォーターセーフティーハンドブックの配布を仙台市の小学1年生を中心に実施しています。「ウォーターセーフティーハンドブック」とは、海や川、湖やプール、様々な場所で活動する際の注意点や、万が一事故が起こった時の対処法などを記載したハンドブックです。

また、ウォーターセーフティーキャンペーンのひとつとして、YMCA西中田こども園、YMCA南大野田こども園、YMCA加茂こども園、YMCA長町保育園の年長組園児と仙台YMCA幼稚園の園児を対象に着衣泳講習会を実施しています。

川や湖で溺れる事故は衣服を着用している時に起こることが多く、突然水に落ちるとびっくりしてパニックになってしまうことに加え、衣服が水を含んで重くなるのが状況を悪化させ、溺れる原因になっています。YMCAの着衣泳指導では、「衣服を着たまま水の中に入るとどうなるか？」を実際に体験してもらう事を目的とし、万が一落ちてしまった時でも「慌てずに行動することが大切」ということを伝えています。

第2面に続く



YMCAジュニアクラブではレギュラー(通年)クラスでスイミングを行っていますが、指導の中で水上安全につながる練習を取り入れています。大切なことは水に落ちても慌てずに水面に上がることや呼吸をすることです。水に潜り目を開けて脱力すること、水泳での呼吸法の鼻から息を出して口で息を吸うボビング、仰向けで水面に浮かぶ姿勢の練習で自分の命を守る術を身につけていきます。(全て子どもたちの泳力に合わせて行います。)

毎年、夏休み前には短い時間ではありますが、クラスの中で水上安全講習を実施しております。危険なところには近づかない、海や川、プールなど水辺での活動では大人と共に行動すること、溺れている人を見つけた時には、自分で助けに行かず、大人に助けを求めることなど、自らの尊い命を守るために大切なことを伝えています。会員の皆さんには、自分の身を守ることや、安全に活動することを心掛けて、かけがえのない命を尊重しながら楽しく夏を過ごしてほしいと願っています。

(健康教育事業部 / 糟谷昌洋)



## volunteer

## 富沢児童館

### 富沢児童館ジュニアボランティア「トミザワイレブン」 富沢中学校 1年 小熊 架音

私は小学1年生の時から富沢児童館にお世話になっていましたが、4年生の時にトミザワイレブンというボランティアがある事を知りました。小さい子のお世話が好きで、私の夢は「保育園の先生」になる事なので、ボランティアを通して少しでもリーダーのお手伝いをして色々な経験ができればいいなと思い、入りました。イレブンの仲間たちと、リーダーたちとキャンプをしてイレブンの活動について考えたり、毎月ある地球探検隊では、地下鉄に乗って公園に行ったり、バザーのお手伝いをしたり、地域の活動で笹川清掃をしたりと様々な活動があります。私が一番好きな活動はキャンプです。毎年参加していますが、その年によって色々なイベントがありました。みんなで協力してご飯を使ったり、サテライトの看板を作ったりとその年の仲間たちとキャンプをするのは、とても貴重な体験で、とても大切な思い出です。



私がイレブンに入って学んだ事は色々な人(学年)との関わりがとても大切だという事と、人に優しくする事の大切さです。中学生になりましたが、これからもイレブンのボランティア活動を続けていき、色々な事を学び、人の役に立てるよう自分の夢に向けてがんばりたいです。

仙台YMCA  
バザー

6/9 (日)  
10:00 - 14:00

■場所：仙台YMCA立町会館

■お問い合わせ：TEL：022-222-7533  
FAX：022-222-2952

#### 維持会費 (4月18日~5月17日)

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます  
サポート会員A  
川上 灯

※敬称略

#### 一般会員・サポート会員を 随時募集中です

ぜひ会員として、  
仙台YMCAの活動をお支えください  
お問い合わせ：本部事務局

TEL:022-222-7634  
FAX:022-222-2952



ボランティアリーダー 山口 亮

東日本大震災が巡り合わせてくれた「縁」。「暇ならリーダーやってみない？」の一言からボランティアが始まり児童館で子どもたちと遊び、気付けばキャンプに参加させていただくようになり……。 「こっちにも来なきゃダメだな〜！」と、いつの間にか複数の児童館に足が向くように。時におはじきを飲んで館長を青褪めさせた児童がいたり、なぜか前総主事のお宅で一献させていただく事もあったり、チャリティーランではランではなく職員の旦那様と腕相撲をさせられ圧倒的な敗北をしたり、小学生だった少年が高校を卒業し「俺は工場長になる！」と児童館で再会をしたり、新聞に載るような国家資格を取得した少年もいたり、インターハイを応援しに行ったりと様々な「縁」を創ってくれたYMCAボランティアと児童館。



ポチポチとすれば簡単にあらゆる情報が手に入り、物が手に入り、画面を通せばいつでも相手の顔が見られるそんな時代にデジタルでは手に入らない、お金でも買えないこの「縁」は全て対面で出逢い、話し、触れ合い創られた貴重なものであり財産。ボランティアという立場でYMCAと関わって十数年、振り返れば全てが「縁」により構築され気付かされた人との関わりや温もりや愛情。

『巡り会いの中で生きていく また人を少し好きになる』、なんていう歌があったなあと思いつつ...令和の世に、ギリギリ昭和生まれの気骨な男は「縁」に感謝し今日もまたどこかのボランティアへ。

## 連載

加藤 総主事の

『みつかる。つながる。  
よくなっていく。』

第11回

「あきらめず、祈り続ける」



日本YMCA同盟主催の「平和を願うYMCAオンライン祈祷会」が5月9日に開催されました。100名を超える方がオンラインで参加し、ガザにおける大虐殺について、現地からの報告を聞き、パレスティナの平和に対し祈りを合わせました。

10月7日に開始された戦闘は、すでに7か月が過ぎています。ガザでは34,735人が死亡し、78,108人の方々が亡くなっています。そしてその3分の1以上が女性と子ども。この中にはYMCA関係者も含まれています。私はこの戦闘で自分の命の危険がすぐそこにある人々の状況を聞いているうちに、胸が苦しくなっていました。こんなにも犠牲者を出しながら、戦争を止めることができない無力さも感じます。しかし、私たちは祈るのです。特に、現地で歯を食いしばって生きている人たちのために祈るのです。自分の無力さを嘆くのではなく、小さな力でもつなげていく、祈ることをあきらめないことが大切なことです。

仙台YMCAから運動が始まった「平和七夕」も今年で49回目を迎えます。千羽鶴に平和への願いを込めて折る活動です。ご家庭でも、職場でも、子どもたちと共に、仲間と共に、平和を願う活動にぜひご参加ください。

「祈りが変わると心が変わる。心が変わると行動が変わる。忍耐強く待っている人のために愛をもって祈りましょう。」(祈祷会の中で長尾有起牧師の言葉です。)



## 仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行います。

## 共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

## 喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。

## 世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

## 地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

## ボランティアの働きを地域社会に拡げます。

私たちは、人と人とのかかわりを豊かに育み、隣人に伝えあう喜びの輪を拡げます。

## 子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

## 仙台YMCA大会のご案内

来る6月29日10時30分より仙台YMCA立町会館の4Fホールにて、2024年度仙台YMCA大会を開催します。

今年度は3部構成となっており、第1部は、コミュニティナーズとして活躍されている伊藤明日香さんをお迎えし「地域のつながりを考える」と題して講演会を行います。

第2部は11時30分から3月11日から21日まで横浜YMCAと共同で行われた「グローバルスタディーツアー in タイ」の報告会を行います。

そして第3部として、12時から13時まで会員総会を開催します。2023年度の仙台YMCA全体の決算と事業報告、2024年度の予算と事業計画の報告と表彰感謝が行われます。どのプログラムからでもご参加いただけますので、ぜひご参加ください。お待ちしております。



- 日程：2024年6月29日(土) 10:30～13:00
- 場所：仙台YMCA立町会館4Fホール
- お問い合わせ：  
仙台YMCA本部事務局  
〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7  
TEL:022-222-7634 / FAX:022-222-2952

## Column

## 仙台ワイズメンズクラブ

23-24期は退会者が複数発生し、「愉しく例会を守る」ことを大目標に運営してきました。過去、頻繁に行っていたYMCA施設行事への参加協力も少なくなった中、OKバジさんへの支援は継続しています。メネット会及び女性会員が中心となり、「愛の布風船」をネパールの子どもたちへ届けています。YMCAの施設でも寄贈を望む声上がり、今期は1保育園、4こども園へ布風船をプレゼントしました。OKバジさんより過日、お礼のお手紙が届きましたのでお知らせいたします。OKバジさんの支援は通年、在仙クラブのメネットの皆さんにもご協力いただいています。本当に感謝しています。7月にOKバジさんとのスケジュールが調整できればぜひ例会にお呼びしたいと願っています。

(仙台ワイズメンズクラブ 高松成士)

吉田一恵様、会員の皆様へ

吉田さん、そして会員の皆様はお元気ですか？仙台は、まだ春は来ていないでしょうか？

皆様に昨年作っていただいた「愛の布風船」はネパールの子供達にとっては大プレゼントでした。どの学校へ行っても、笑いど興奮が渦巻き、私もつい子供たちにつられて夢中になっただけでなく、そばにいた大人たちまで巻き込んでしまいました。これまで20枚ほど回りながらプレゼントしてきました。

…(中略)…

このアイデアをネパールの学校の先生方も感心し、そして女性たちの中には「私も作ってみたい。」と言い出した人がいました。どんな出来になるか楽しみです。…(中略)…他団体の方々も作ってくださったおかげで、たくさんの方にプレゼントすることができています。ご協力ありがとうございました。もうすぐ来る仙台の春をたっぷりと楽しんでください。今年も7月にお会いできる日を楽しみにしています。愛の布風船の話もさせていただくことを楽しみにしています。

皆様 お元気で活躍ください。ごきげんよう。ありがとうございました。

OK baji

本名：垣見一雅さん（当時某学園英語教師）が、ヒマラヤ登山中に雪崩に遭い、ご自分のポーターが亡くなりました。彼の村を訪れ厳しい条件の中で暮らす人々の姿を目にし、1993年に退職。パルパ郡で草の根ボランティアとして一人で活動を始めました。集めた



お金を100%村々に届けたいとの活動を続けています。当時、村に学校を建て、病気の人に治療費を出してあげていたのにテントで住んでいたため、村人が6畳ほどの家を建ててくれました。しかし、その家にも月に2日ほどしかいなかったとのこと。車ではいけない村々を歩いては村の人びとが何で困っているのかを聞いて回っていたからだそうです。ネパール語がまだ話せない頃、村人の窮状を聞いて「OK、何とかしてみるよ。」と英語で言っていたため、子どもたちから「OKおじいさん（OK Baji）」というあだ名をもらいました。1997年に、地元での貢献が当時の国王の耳に届き、国王から日本人で初めてのゴルカダッチンパウ勲四等が授与され、2009年には日本でも吉川英治文化賞が授与されました。